

まなび

発行 松永地域振興課編集室
住所 福山市松永町三丁目1番29号
電話 084-934-5443
FAX 084-934-8251
メール matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



夏休み子ども企画 平和展を開催します

期間:7月22日(木曜日)~8月10日(火曜日)

場所:西部市民センター1階エントランスホール&サロン

夏休み子ども企画として、「『ヒロシマ』から平和への祈りを届けよう!」というテーマで、平和展を開催します。

1945年(昭和20年)8月6日午前8時15分、世界で初めて原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われた、『ヒロシマ』の現実を改めて学び合うとともに、「核兵器のない平和な社会」の実現に向けて考える場にしていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、平和関連行事も縮小・中止している状況ではありますが、私たち一人ひとりが自ら平和について考え、行動することはできます。

夏休み期間で開催しますので、子どもの皆さんはもちろん、多くの方にお越しいただき、ご覧いただきたいと思います。

また、皆さんの平和への祈りを届けるため、「短冊づくり」を併せて行いますので、ぜひご協力をお願いします。



SDGs

16 平和と公正をすべての人に



平和と公正をすべての人に



内容:①パネル展示 ②資料展示
③視聴覚教材などの上映(予定)
④短冊づくり(予定) など

2021 平和アピール展

市内の認定こども園、幼稚園、保育所(園)、小学校、義務教育学校などの幼児・児童・生徒や市民の皆さんが、平和の尊さ、生命・人権・仲間の大切さを訴えた作品を展示します。

平和展と一緒に、ぜひご覧ください。

と き 2021年7月31日(土)~8月16日(月)

場 所 西部市民センター エントランスホール



↑ 2020年度の様子 ↑

LGBTのこと知ってください

5 ジェンダー平等を実現しよう



LGBTとは、性的マイノリティー（少数者）の総称です。それぞれの頭文字を当てはめたもので、さらに多くの性を表す「LGBTQ」「LGBTX」などの表現もあります。

「ホモ」「おかま」「レズ」など、差別的な意味合いを含む言葉が、日常的に使われている社会状況の中、誹謗中傷やいじめを受ける・誰にも相談できずに孤立する・差別を恐れ本当の自分を隠して生きるなどにより、精神的にも身体的にも社会からも追い詰められた結果、自ら命を絶つ出来事が起きています。

性的指向を含むあらゆる差別の禁止が国際人権条約に規定されており、実際に世界50カ国以上が性的指向に基づく差別を法で禁止しています。

いま私たちに求められるのは、多様性

この記事はSDGs目標5のジェンダー平等を実現しように関連しています。



への理解を深めるとともにLGBTから基本的人権を奪っているさまざまな障壁を差別禁止というルールで取り払い、すべての人の平等を実現することだと思います。

「人権は誰かのことじゃない」

人権擁護委員の活動紹介展をしました

6月12日から27日に西部市民センター1階で人権擁護委員の活動をパネル展示で紹介しました。

人権擁護委員は、人権を守る様々な活動をしている人を市長が推薦し、法務大臣が委嘱します。福山管内（府中市・神石高原町を含む）には現在54人の委員が委嘱を受け、人権相談や人権犯罪の調査・救済などを行っています。また、学校を訪問した機会などを利用して、紙芝居や講演会などを行い、人を思いやる心や命の大切さについて学んでもらえるよう取り組んでいます。

今回は、広報冊子の他に子どもや女性にSOSの発信を呼びかけるちらしを設置したところ、多くお持ち帰りいただき日々の暮

この記事はSDGs目標10の「人や国の不平等をなくそう」に関連しています。

10 人や国の不平等をなくそう



らしにに生きづらさを感じている人の存在を実感しました。

お会いした委員は、「人権はすべての人が持っている幸せに生きるための権利です。困ったときは一人で悩まず相談に来てください。」と話しておられました。



情報びっくり箱

講座に参加する時は
マスクを着用してください



松永図書館(933-3770)



<7月の行事>

☆おとなのための朗読会

●期間 7月12日(月) 11時~11時40分
14時30分~15時10分

●ところ 松永図書館 集会室

●内容 まつなが朗読会「早蕨」(さわらび)による、おとな向けの朗読会

●申込み 必要

※7月1日(木) 10時から来館または電話にて 各回先着20名

☆夏のこわ~いおはなし会

●とき 7月31日(土) 15時~15時40分

●ところ 松永図書館 集会室

●内容 ストーリーテリング「指輪」など

☆あかちゃんといっしょのおはなし会

●とき 7月14日(水)及び15日(木) 11時~11時15分

●内容 乳幼児とその保護者を対象にしたおはなし会

※おはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大状況により、人数制限または中止する場合があります。

<<図書館のお休み>>

7月20日(火) 館内整理日



神村コミュニティセンター(934-3445)

☆人権啓発講座

ミュージック・ケア「みんなちがってみんないい」

●とき 7月3日(土) 10時~12時

●ところ 神村コミュニティセンター

●内容 保護者と子どもと一緒に楽しめる音楽療法

●対象者 乳幼児と保護者

●講師 北川 宜子 さん

●定員 ミュージック・ケア 5組
個別相談 3組

●申込み 必要

●持参物 飲み物, タオル

●問合せ・申込先 神村コミュニティセンターへ



性の多様性に関するパネル展

期間:7月1日(木)~7月20日(火)

場所:西部市民センター

1階エントランスホール

※6色のレインボーカラー

LGBTを含む性的マイノリティに理解を示すシンボルカラーとして世界中で使われています。

今津交流館(934-2205)

☆まちづくり推進事業・子育て支援事業

「げんきっス広場」~乳幼児と保護者の交流広場~

●とき 7月16日(金) 10時~11時30分

●ところ 今津交流館

●内容 子育て相談会・ベビーマッサージ, 写真で缶バッチづくり, おもちゃの病院

●対象者 0歳児と保護者

●講師 西田 啓子 さん(助産師)

●定員 親子10組(先着順)

●申込み 必要

●持参物 下に敷くバスタオル, 飲み物
マスク(保護者のみ)



☆社会教育活動事業「防災セミナー」

~もしもの災害に備えて~「防災セミナー」パート1

●とき 第1回 7月28日(水) 13時30分~15時

第2回 8月11日(水) 13時30分~15時

第3回 8月18日(水) 13時30分~15時

●ところ 今津交流館

●内容 第1回「家庭防災編」

家庭で日常気を付けることなど, 身近な備えについて学びます。

第2回「非常食の体験会」

非常食の試食・実演やローリングストックについて学びます。

第3回「災害時のスマホ活用術」

事前に災害情報を入手する方法や救助要請など連絡する方法などを学びます。

●対象者 成人(一般)

●講師 第1回 福山市防災リーダー 塚本 哲史 さん

第2回 西部生活学校 植村 二三子 さん

第3回 BCCスマートフォン&タブレット教室インストラクター
中井 美幸 さん

●定員 20人

●申込み 必要

●持参物 第3回のみ スマートフォン持参

☆社会教育活動事業

語り伝えたい“歴史とともに迎える今津” DVD 鑑賞会

●とき 7月30日(金) 13時30分~15時

●ところ 今津交流館

●内容 講義と鑑賞会

●対象者 成人(一般)

●講師 古川 裕子 さん 他

●定員 20人(先着順)

●申込み 必要

●持参物 スマートフォン・ノートパソコンなど

●申込み・問合せ 今津交流館へ



SDGs 17 の目標紹介

「SDGs」(エス ディー ジーズ)は、「Sustainable Development Goals」の頭文字で、「持続可能な開発のための目標」という意味です。国際連合が、全ての人々が幸福に暮らし続けるために提唱したもので、17の目標と169の具体的な行動の項目を定めています。「まなび」では17の目標を連載で紹介し、関連する記事に目標のアイコンとロゴを掲載しています。

17 パートナーシップで目標を達成しよう

- しっかりとした国際協力によるパートナーシップがなければ持続可能な開発目標をめざすことはできません。
- 相手国の意思を尊重し、国や市民の交流を促進することが重要です。
- 公平な貿易を行うことで、すべての労働者の所得を増やし貧困をなくすことが重要です。
- 資金や技術力を構築して産業を育成するにあたり、発展途上国への支援の強化が重要です。

ゲタなび

3 すべての人に健康と福祉を

SDGs



3 すべての人に健康と福祉を

夏休みの季節…、昨年は叶わなかった行事を計画している人もおられると思います。学校にエアコンが完備され、子どもたちが登校する機会も随分増えたようですが、やはり長期休みは楽しみなもの。夏ならではの思い出作りを大切にできればと思います。とはいえ、「新型コロナ」の影響は依然として止まず…、不調を感じた時に備え、検査など対応してもらえる場所や心得のチェックもお忘れなく。

松永高校生徒が花を植栽

沼南高校生徒が育てた苗を提供



6月21日に、広島県立松永高等学校で花の植栽活動がありました。これは、校内ボランティアに登録した生徒が主体的に参加するもので、様々な活動をしています。

今回は、連携校の広島県立沼南高等学校に協力をいただき、園芸デザイン科の生徒が育てたサルビアやマリーゴールド、ペチュニアなどの花の苗を校内に植えました。

活動に参加した生徒のみなさんは「好きな赤い花を植えられてよかった」「上手にできた」など、感想を話していました。

3年生で生徒会長の平田和志君は、「新型コロナウイルスの影響で1年生の終わり頃から行事を何もしていない。このような学校が艶やかになる活動ができてよかった。」と話していました。



ホームページで
カラーを ↓↓↓

平和に触れる季節…、昨年は慰霊祭などの行事も縮小しました。戦争体験者の高齢化でお話を伺う機会も随分少なくなりましたが、やはり若い人にその思いを継承してほしいと願います。8月6日の原爆記念日や8月8日の福山空襲の日など、節目を迎えるにあたり、平和の大切さについて考える機会を何か持っていたいただけたらと思います。